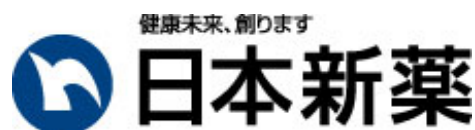


NEWS RELEASE



2012年3月9日
日本新薬株式会社
広報部

各位

新規抗そう痒剤 (NST-141) に関するライセンス契約解除について

日本新薬株式会社（本社：京都市南区、社長：前川重信）は、大鵬薬品工業株式会社（本社：東京都千代田区、社長：宇佐美 通）との間で締結していた新規抗そう痒剤（開発記号：NST-141）に関するライセンス契約について、このたび解除することに両社が合意しましたのでお知らせします。

NST-141 は、当社が創製した外用の新規抗そう痒剤であり、2011年2月からスタートした、アトピー性皮膚炎に伴うそう痒に対する第Ⅱ相の最初の探索的試験（PⅡa試験）の結果、全体としては明確な抗そう痒効果は確認できなかったものの、既存薬が奏功しない、比較的痒みの強い難治性のそう痒患者に対して効果を示す可能性が示唆されました。

当社は2008年10月1日、NST-141の日本国内における共同開発・共同販売に関する基本契約を大鵬薬品工業株式会社と締結しました。以来、共同で開発を進めてまいりましたが、このたびのPⅡa試験の結果を踏まえてライセンス契約を解除することとし、当社がすべての権利を再取得することで合意しました。

なお、当社では、NST-141が難治性のそう痒の新しい治療剤となることを期待して、引き続き開発を進めてまいります。

以上